

建設業死亡災害増加！！

ゼロ災大阪

非常事態宣言 発令

災害防止対策強化の緊急現場指導を実施

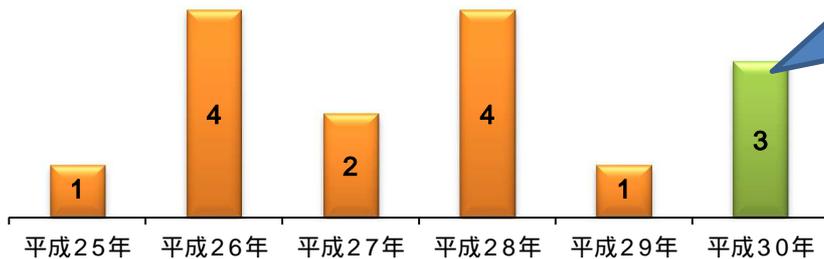
期 間：平成 30 年 8 月 20 日～平成 30 年 9 月 30 日

重点確認事項：**墜落防止対策の徹底**
重機災害防止対策の徹底
崩壊・倒壊災害防止対策の徹底



*期間中、重大な災害を発生させた現場、現場指導時において墜落防止対策に違反が認められた場合は厳正な措置を講じることとしています。

建設業の死亡災害推移



未だ 8 月！
あと 5 ヶ月も
残しているのに



大阪中央労働基準監督署管内での平成 30 年の死亡 3 件は

すべてが建設業で発生！すべてが墜落！

2 月	墜落・転落 (足場)	店舗看板撤去作業において、木製足場板上にて単管の受け渡し作業中にバランスを崩し地上 9 メートル下へ墜落した。 [60 代・男・作業員・53 年]
7 月	墜落・転落 (開口部)	10 階建てマンション新築工事現場で防水作業のため屋上に上がり作業していたが工具を取るため外部足場を伝って 10 階フロアに降りた際、エレベーターピットが開口状態であったため、ピットから約 18 メートル下へ墜落した。 [40 代・男・作業員・7 年]
7 月	墜落・転落 (ハシゴ)	4 階建てビル屋上に広告看板設置のため、屋上にて寸法取りを終えビル壁面に設置されているタラップを使用して地上に降りる際に墜落した。 [40 代・男・作業員・20 年]

リスク “ゼロ” 大阪推進運動

リスク “ゼロ” 大阪推進運動は、「災害ゼロ・疾病ゼロの大阪」を実現することを究極の目標として、労働災害の防止、重篤災害の撲滅に向け、働く者すべてがそれぞれの立場で自主的に安全衛生活動を実践し、職場風土と安全文化を構築していくための啓発運動です。

工場、現場、事務所、店舗などの職場に潜むリスクの洗い出しを行い、これに基づき設備の改善、作業手順の見直し、安全衛生教育の実施などの対策の徹底により、**災害のリスクをなくし、「正規」「非正規」等の区別無く、全ての労働者の健康が確保され、安全・安心に働くことができる職場の実現に取り組みましょう。**

安衛則改正
墜落制止用器具は
「フルハーネス型」に！
(H31.2.1 施行)



大阪労働局 リスクゼロ 検索



✓ 命綱GO活動のポイント

- 安全帯（墜落制止用器具）の着用状況を確認！
- 安全帯（墜落制止用器具）は二丁掛けとし、足場や鉄骨の組立・解体作業にはフルハーネス型を使用！
- 現場所長・職長は、作業場所を巡視し、安全帯（墜落制止用器具）の使用状況を確認！
- 足場組立等・鉄骨組立等の各作業主任者は、安全帯（墜落制止用器具）の使用状況を監視！
- 安全帯（墜落制止用器具）の点検の実施！（チェックリストの活用）
- 危険体感教育の実施！
- 安全帯（墜落制止用器具）取付設備の（親綱を含む）の設置！
- 一側足場には、各層ごとに水平親綱を設置！
- はしごの昇降には、安全ブロック等を設置！
- 足場組立等の特別教育の実施！
- 特に墜落の危険性の高い業務従事者に対する特別教育が新設（H31.2.1 施行）

○ 月度 提示日 年 月 日

現場所長
『安全宣言』
労働災害防止のため 私はこうします！

☆ 毎日、安全帯の使用状況を確認します！
☆ 新規入場者全員と話をします！

会社名 ●●建設株式会社
工事名 △△マンション新築工事
現場代理人 (自署で署名しなさい) 大阪太郎

基本方針
一人ひとりが労働災害防止に取り組み、全工期無災害を達成する。

重点目標
○ 高所作業での安全帯使用100%
○ 作業開始前にKY実施100%
○ 第三者災害ゼロ

現場所長安全宣言 検索

命綱GO活動 検索